



コミュニケーションロボットを使った高齢者の見守り等に関する実証実験の実施について

このたび、「スマートチャレンジくれ」の取組の一環として、呉市社会福祉協議会の協力のもと、コミュニケーションロボットを使った高齢者の見守り支援等に関する実証実験を行うこととなりましたのでお知らせします。

【実証実験の概要】

コミュニケーションロボットが、スマートフォン等の操作に不慣れな高齢者等の日常生活における見守りや生活習慣の改善支援につながるかどうか、有効性を検証することとしています。具体的には、コミュニケーションロボットの機能を使って、次のような支援を行うこととしています。[\(次ページの取組イメージを参照\)](#)

- ・リマインド機能の活用：服薬の確認や予定日のプッシュ通知等による生活支援
- ・各センサ機能の活用：ロボットと連動した人感センサ等による室内環境（温度や照度等）の確認機能を使った遠隔での見守り支援
- ・メッセージ機能の活用：遠方に住むご家族との双方向の連絡

1 実施協力者

安芸灘地域にお住まいの単身高齢者等（5世帯）に今回の実証実験の協力モニターになってもらい、安芸灘地域包括支援センター（運営主体：呉市社会福祉協議会）がコミュニケーションロボットを使った各支援を実施します。

2 実施スケジュール（今後の予定含む）

令和4年11月上旬 安芸灘包括支援センターによる協力モニターの選定

〃 12月 安芸灘包括支援センター職員と支援内容の協議

令和5年1月下旬 ロボットの各機能設定及び協力モニターへの操作説明

→準備が整った協力モニターから順次開始予定

※実証期間は約半年を予定しておりますが、状況に応じて期間延長することも考えています。

3 その他

ロボットの利用に係る協力モニターの費用は無料です。（実施に必要な費用は、スマートチャレンジくれの実証事業予算において対応します。

【コミュニケーションロボットについて】

このたびの実証実験では、コミュニケーションロボット「BOCCO emo (ボッコ エモ)」を使用します。



(参考) <https://www.bocco.me/>

【取組のイメージ】

